

2009 年度卒業研究第二回中間発表会の開催について

4 回生担任 錦澤滋雄

1. 発表会

- ・日時： 2009 年 9 月 24 日（木）10:40～16:00
2009 年 9 月 25 日（金）10:40～15:00
- ・場所： 両日とも A2-201
- ・発表時間：発表は、一人 5 分間、質疑応答と助言をその後の 5 分間とし、一人あたり計 10 分とする。発表時間を厳守すること。
- ・発表の内容：発表要旨と同様の内容を簡潔に発表すること。

2. 発表要旨

指導教員より発表を許可された者は、2009 年 9 月 18 日（金）13:00～15:00（厳守）に、指導教員が押印した「卒業研究第二回中間発表 許可書」とともに発表要旨を B2-209 室に提出する。分量は A4 横書き 2 枚（片面モノクロ印刷）とし、書式は次の通り（学科 HP に掲載している「要旨記載例.doc」をダウンロードして使用すること）。

< 最初の書式設定 >

* MS-Word で、まず次の設定にする。

- ・段組 1 段（デフォルト）
- ・字体・サイズ MS 明朝 + Times New Roman, 10 pt
- ・文字数・行数 48 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt
- ・余白 上下左右とも 20 mm
- ・本文 行間 1 行（デフォルト）
- ・ページ番号 つけない

< 要旨全体の注意 >

- * 英数字は半角とする（後出の大項目の項目番号のみ全角）。
- * 句読点は、「.」と「,」（全角）を用いる。
- * 提出前に必ずモノクロ（白黒）で印刷し、判読できない箇所（図表含む）がないことを確認すること（カラーなら判読できるが、モノクロ印刷では判読できない場合があるので）。

< タイトルと氏名等の書式 >

- * 1 行目の中央に、タイトル（MS ゴシック + Arial, 12 pt）
- * 2 行目の左端に 研究室名・学籍番号・氏名（MS 明朝, 10 pt）を記載。
- * 1 行あける。

< 本文の書式設定 >

- * 段組を 2 段に変更（境界線は引かない）。このとき、
 - ・文字数・行数 23 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt とする。
- * 本文は、2 段組で記述する（段の幅 23.03 字, 間隔 2.13 字）。
- * 以下、次の大項目の順番に記載
 1. 背景・論点
 2. 研究の目的・意義
 3. 研究方法
 4. 前回発表以降の進捗状況
 5. 今後の予定
 6. 参考文献
- * 大項目は 10 pt の MS ゴシック + Arial, 項目番号は全角にして、直前を 1 行あける。
- * 中項目が必要な場合は、(1), (2), (3) などとし、さらに少項目が必要ななら、1), 2), 3) などとする。ともに 10 pt の MS ゴシック + Arial にする。
- * 図表は次のように記載する。
 - ・前後を 1 行あける（本文との区別明確にするため）

- ・キャプション（図表タイトル）は，表は上につけ，図は下につける．
- ・キャプションの図表番号は，図 1，図 2，表 1，表 2 と，9 pt の MS ゴシック + Arial にする．
- ・キャプションの本文は，9 pt の MS 明朝 + Times New Roman にし，本文と切り離してもそれだけで意味が通じるようなものにする．
- ・図表の大きさは，2 段組か 1 段組のどちらかとする（1 段組にした場合に，余白に本文を記載しない）．

* 参考文献の引用について

本文中の引用箇所の右肩に右片括弧つき数字で 1/4 角により引用文献番号を表示すること．

例： 文献の引用を記した様式^{1), 2), 3)} についてはいろいろなものが……

引用文献リストは「6．参考文献」に，9 pt の MS 明朝 + Times New Roman で記載すること．形式は，次のようにする．

雑誌 引用番号 著者名：引用論文表題，掲載誌名，巻（号），ページ（発行年）

例 1) 日高俊隆：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，225-229（1930）

2) T. Hidaka: Referring References, *Book Sciences*, 28(4), 1305-1309（1945）

注意) 共著者が 2 名のときは 2 名を「，」区切りで記し，3 名以上のときは第一著者名・他，または "Author et al." と記載する（著者名に関しては以下，同様）．またページは単数ページの引用が "p.220"，複数ページの引用が "pp.220-223" ．

単行本 引用番号 著者名：書名，引用ページ，発行所（発行年）

例 3) 日高俊隆：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会（1999）

4) T. Hidaka: How to use References, pp.215-219, Academic Press（1998）

事典類 引用番号 書名，発行所（発行年）

例 5) 平凡社百科大事典，平凡社（1990）

新聞記事 引用番号 新聞社名（支社），日付 第何面

例 6) 読売新聞（滋賀），2001-02-07 朝刊 17 面

私信等（手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合） 引用番号 相手名，日付，私信

例 7) 井手慎司，1998-12-08，私信

Web サイト 引用番号 サイト運営（作成）者名：ページ（記事）タイトル <URL>，情報入手日

例 8) 地球環境情報センター：データ

< <http://www.geic.or.jp/choco2/member.html> >，2002-11-07

注意) URL には見にくいので下線はつけない．

電子メール 引用番号 差出人名 <差出人の電子メールアドレス>：Subject，日付，種類（私信，メーリングリスト，公式文書など）

例 9) 井手慎司 <ide@ses.usp.ac.jp>：RE: 質問，1998-12-08，私信

3．発表用電子媒体の提出

発表用の PowerPoint ファイルは，ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し，B1-104 研究室へ提出すること．提出日時は 2009 年 9 月 23 日（水）13:00～15:00（厳守）とする．（今年は提出日時が祝日にあたるため）この時間帯に提出できないゼミは，事前に錦澤まで連絡すること．なお，ソフトとしては MS PowerPoint 2007 を用意する．

4．発表順序

別途通知する．

就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は，事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること．

卒業研究第二回中間発表 許可書

ゼミ出席回数が基準を満たしたので下記により第二回中間発表を許可します。

指導教員氏名_____ 印

記

学生番号_____

学生の氏名_____

卒論の表題

_____ ぎりとりせん _____

(学生用控え)

卒業研究第二回中間発表 許可書

ゼミ出席回数が基準を満たしたので下記により第二回中間発表を許可します。

指導教員氏名_____ 印

記

学生番号_____

学生の氏名_____

卒論の表題

2009年度第2回中間発表会 発表順番案(2009.08.21/09.02
修正)

9月24日(木) : A2-201

9月25日(金) : A2-201

時限	発表学生	所属ゼミ
2 時限	小菅 昂洋	井手
	城本 哲志	井手
	田中 稔久	井手
	尾形 文章	鵜飼
	勝山 陽介	鵜飼
	児玉 悠子	鵜飼
	小牟禮 達也	鵜飼
	高岡 絢美	鵜飼

時限	発表学生	所属ゼミ
2 時限	中山 南美	秋山
	岩見 麻子	井手
	浅井 千穂	近藤
	安食 陽子	近藤
	多賀 瑛	近藤
	玉井 郁圭	近藤
	國松 博安	高橋
	杉田 正樹	高橋

3 時限	井上 一字	香川
	大西 直樹	香川
	相井 勇人	香川
	並木 仁美	香川
	長谷川 数樹	香川
	岡田 奈緒	金谷
	川崎 奈那子	金谷
	近藤 文	金谷
	坂本 進太郎	金谷
	立花 佳大	金谷

3 時限	中谷 舞花	高橋
	那須 健司	高橋
	木村 秀和	錦澤
	木村 昌敬	錦澤
	西出 尚史	錦澤
	二田口 尚子	錦澤
	二瓶 莉苗	錦澤
	上田 亮	林
	丹野 明智	林